

令和 6年度「校庭芝生化地域連携事業」実施報告書

区市町村名	三鷹市
学校名	三鷹市立大沢台小学校

1 事業目的 協議会名 大沢台小学校しいば君会議

- 芝生のメンテナンスを通して児童同士、親子、保護者同士、保護者と学校、学校と地域の方々との交流の場作り。さらに相互のコミュニケーションを図る場となっていきたい。
- ボランティア精神や芝生に関する知識を得て、環境教育につなげたい。
- コミュニティスクールから生まれた学校を中心としたコミュニティを形成する場となりたい。

2 主な取組と成果

校庭芝生維持管理は、学年ごとに子供たちのレベルに合わせた芝生の手入れを行っています。地域参加作業は夏休みを利用していましたが、ここ数年の酷暑で作業が出来ない年が続きました。今年からは秋季から冬季にかけて参加するスタイルに変わりました。各グループ一年に一回、順番が回ってきて1時間程度の作業ですが、次々にバトンタッチしていくので、芝生はいつも良い状態を保つことが出来ています。さらに機械や資材の導入や工夫、三鷹全体での芝生管理技術、情報、機械、資材、道具等の共有化を行っています。校庭芝生を使用することにより運動会や地域参加イベントにおいて、校庭芝生に対する愛着の念が湧き、「みんなで支えていく」「重い荷物はみんなで持つ」考え方が浸透してきています。年々工夫を重ねて行き、みんなの作業が軽減する努力をしています。

3 取組内容

- 児童による芝生メンテナンス作業(3年生)(5月14日)
- しいばくん会議(第1回目)(5月21日)
- 児童による芝生メンテナンス作業(4年生)(5月22日)
- 児童による芝生メンテナンス作業(1年生)(5月27日)
- 児童による芝生メンテナンス作業(2年生)(6月24日)
- 児童による芝生メンテナンス作業(4年生)(6月26日)
- 運動会(10月26日)
- オーバーシード(11月3日)
- 児童(5年生)による芝生メンテナンス作業「芝生のバンソウコウ」貼り作業(12月5日)
- 児童(5年生)による芝生メンテナンス作業「芝生のバンソウコウ」外し作業(3月13日)



4 今後について

芝生のよい生育状態を維持していくことが一番の課題です。コロナ禍で学校、PTA、地域のつながりが切れかけており、さらに猛暑で以前のような作業スケジュールを組めなくなりました。「出来ないでなく、出来るところから始める」時勢に沿った新たなつながりを作っていった一年でした。今後も新たな芝生を使ったイベントや講習会等、また作業自体も楽しく、遊びながら作業が進んでいくなど工夫の余地はまだあるように思います。芝生管理技術、知識、資材、道具、機械等の新たな情報を常に取り入れること、それらを三鷹全体に共有するために発信し続けていきます。